

くり返し使用できる

コンクリートを一切使用しない

特許 第2892317号

脱着式SP基礎

近年、産業廃棄物は増大傾向にある一方で、処理場の確保の問題は依然、深刻さを増しております。建設工場の現場では、廃棄物の発生抑制と、施工時間の短縮など、トータルコストの削減が求められています。

そのようなご要望の中で開発された「脱着式SP基礎」。

これまで多くの行政担当各位および建設関係社各位にご採用いただき、好評をいただいております。

小型構造物の基礎として、さまざまな用途にご活用ください。

Gテクノ株式会社

短工期かつ再利用可能。 コンクリートを一切使用しない 脱着式SP基礎。

脱着式接続材



スペーサー



SP基礎



脱着式SP基礎の特長

スピード施工でコスト削減

機械で土中に直接打ち込む施工法ですので、路面の余掘などの必要もなく、工期の大幅短縮とトータルコストの抑制を実現します。

路面を傷めず、残土の心配も無用

舗装面の撤去による路面損傷も15~20cm四方と少なく、掘削しないため土の耐力を100%利用できる上に、排出される残土もなく復旧も簡単です。



メンテナンス・リサイクルが容易

万が一、車両衝突等により上部構造物が破損しても、ほとんどの場合は上部構造物の交換だけで済み、基礎は繰り返し使用できます。基礎ごと撤去処分する場合もSP基礎は鉄スクラップとして簡単にリサイクル処理できます。

耐久性の高い素材

安定した耐食性を誇る溶融亜鉛メッキを全面に施し、ボルト類にはステンレス鋼を使用しています。扱いやすく施工性も向上したスペーサーには、耐久性に優れた再生樹脂を採用しました。

CO₂の排出も削減

施工時間の短縮や作業効率の向上により、機械燃料などの消費削減=CO₂の削減に貢献します。また、廃棄時も基礎材は鉄資源として再利用することにより環境負荷を軽減します。

施工手順



打ち込み

施工機械は、全国に普及しているガードレール打ち込み機械で十分です。非常に硬質な土質の場合、あらかじめ他の鋼管で打ち抜き作業をしてください。(詳細についてはお問い合わせください。)岩盤部の施工に当たっては、岩盤削孔機等をご使用ください。



建柱

SP基礎内部には、上部構造物の支柱下端まで碎石をいれます。上部構造物の支柱に、脱着式接続材とスペーサーをセットし、SP基礎に差し込んでください。



固定

上部構造物・脱着式接続材・SP基礎は、すべてボルトにて固定します。鉛直性を保つため、上部構造物に対して約±3度の調整が可能です。

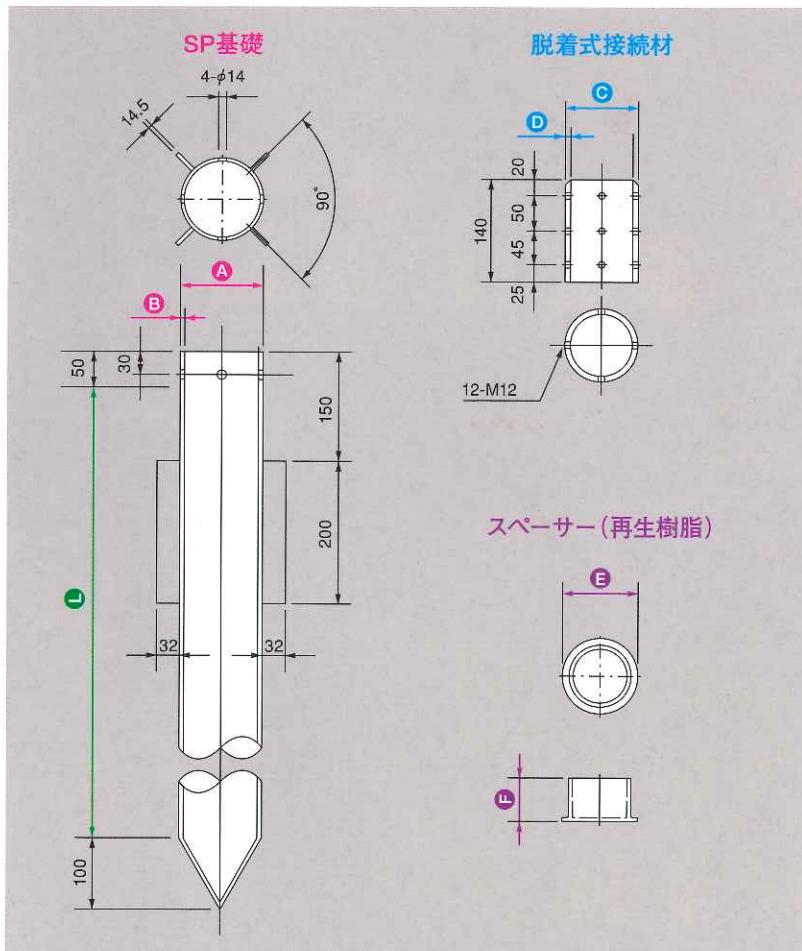
SP基礎は、 上部構造物の支柱径によって 種類が決まります。

■SP基礎使用材料明細(単位:mm)

種類	SP基礎 A×B	脱着式接続材 C×D	スペーサー E×F	上部構造物 支柱径
SP-A-E	φ139.8×t4.5	φ127.0×t10.0	φ130.0×70.0	φ101.6
SP-B-F	φ126.0×t4.5	φ114.3×t8.6	φ117.0×65.0	φ89.1
SP-C-G	φ114.3×t4.5	φ101.6×t8.1	φ105.0×60.0	φ76.3
SP-D-H	φ101.6×t4.2	φ89.1×t7.6	φ93.0×55.0	φ60.5

注)SP基礎は上部構造物の支柱径によって下部材が決定されますのでご注意ください。
SP基礎は上記以外のものも可能ですのでご相談ください。
また、上部構造物支柱が角形鋼管の場合も設計製作いたします。

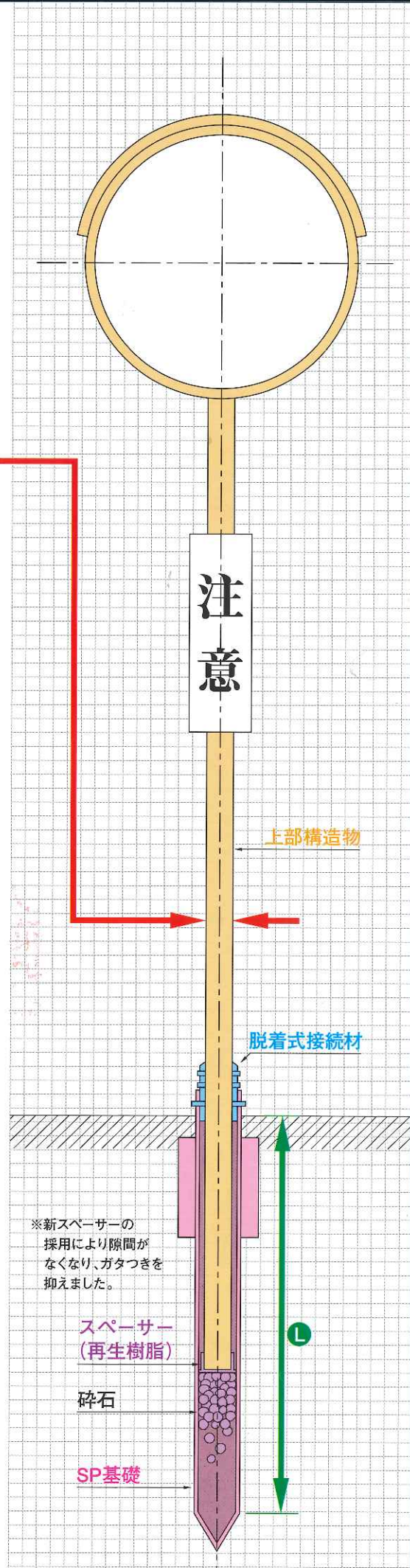
■外形図(単位:mm)



■基礎有効長

SP基礎は、上部構造物の横荷重とモーメントにより、

- 基礎有効長(基礎根入れ長さ)が変わります。
- 有効長(各サイズ)は、お問い合わせください。



※新スペーサーの採用により隙間がなくなり、ガタつきを抑えました。

スペーサー
(再生樹脂)

碎石

SP基礎

使用例

道路反射鏡、各種標識をはじめ
道路照明灯・小型看板など、
あらゆる小型構造物に対応します。

② 脱着式SP基礎は、支柱径Φ60.5～101.6mmの
小型構造物に対応します。
上部構造物の支柱径がそれ以上の場合、
埋込式・ベースプレート式となります。
その場合は、上部構造物の種類ごとに
SP基礎の設計をいたします。



<この商品のお問い合わせは、下記の通りです。>



Gテクノ株式会社

http://www.g-techno.jp/
E-mail : info@g-techno.jp

■本社 / 〒441-0101 愛知県豊川市宿町佐平山48番地
TEL.0533-78-2231 FAX.0533-78-3169

■東京支店 / 〒192-0012 東京都八王子市左入町585-2
TEL.042-691-3640 FAX.042-691-2619

■名古屋支店 / 〒470-0153 愛知県愛知郡東郷町大字和合字知々釜114-11
TEL.0561-37-5771 FAX.0561-37-5773

■豊橋営業所 / 機材開発部
〒440-0091 愛知県豊橋市下五井町小馬場4-1
TEL.0532-21-7105 FAX.0532-21-7106

ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するためのものであり、「規格」の規定事項として明記したものの以外は、保証を意味するものではありません。
本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。
また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、各担当部署にお問い合わせください。
本資料に記載された内容の無断転載や複製はご遠慮ください。